



独立行政法人

大学改革支援・学位授与機構

National Institution for Academic Degrees and Quality Enhancement of Higher Education

機構ニュース

Vol.161 2016 October

今月の記事

Top News

- 「高等教育の質に関するグローバルサミット」に出席 1

評価事業

申請状況について

- 平成29年度認証評価の申請状況について 2
- 平成29年度大学機関別選択評価の申請状況について 2
- 平成29年度選択的評価事項（高等専門学校）に係る評価の申請状況について 2

学位授与事業

短期大学・高等専門学校卒業生等を対象とする単位積み上げ型の学位授与関係

認定専攻科に係る教育の実施状況等の審査について

- 平成29年度に実施する教育の実施状況等の審査 3

特例適用専攻科に係る教育の実施状況等の審査について

- 平成29年度に実施する教育の実施状況等の審査 4

機構認定の教育施設（各省庁大学校）の課程修了者への学位授与関係

教育の実施状況等の審査について

- 平成29年度に実施する教育の実施状況等の審査 5

機構の窓

- 会議の開催状況 6

主要行事日程

- Schedule（10月～12月） 7

TOP NEWS

○「高等教育の質に関するグローバルサミット」に出席

国際会議「高等教育の質に関するグローバルサミット」がインドのベンガルールで、平成 28 年 9 月 16 日(金)、17 日(土)の 2 日間開催され、当機構より土屋俊研究開発部幹事及び国際課職員が出席しました。

本会議は、インドの質保証機関である国立評価認証評議会 (NAAC : National Assessment and Accreditation Council) とアジア太平洋質保証ネットワーク (APQN : Asia-Pacific Quality Network) の共催によるもので、米国高等教育アクレディテーション協議会や、アラブ高等教育質保証ネットワーク等の質保証ネットワークをはじめ、英国高等教育質保証機構 (QAA)、オーストラリア高等教育質・基準機構 (TEQSA) 及び台湾高等教育評鑑中心基金会 (HEEACT) といった質保証機関など計 16 団体が参加し、世界 20 カ国より約 120 名が出席しました。

本会議では、今後、高等教育の在り方が大きく変容していく中で、質保証機関はどのように対処すべきか、また、そのため既存の質保証ネットワークや質保証機関の間で国境を越え、どのように信頼を構築し、連携を強化できるかをテーマに発表がなされました。

CHEA の Judith S. Eaton 会長からは、高等教育における新たな課題（オンライン教育に関する質保証、ディグリーミル等）に対応するための質保証活動の必要性や、APQN の Jianxin Zhang 会長からは、質保証活動において各国が国境を越えて連携することの意義、またその課題等について基調講演が行われました。

テーマ別のセッションでは、当機構、QAA、TEQSA 等の質保証機関関係者より、自機関の取組や成果等に関する講演を行いました。当機構からは土屋幹事が登壇し、認証評価制度の変更点、日本の国際共同学位プログラム設置の現状、キャンパスアジアの成果等の最近の動向について発表を行いました。

2 日目には、主催者側より、本会合の成果として、今後の高等教育の質保証に係る課題に対処するための質保証機関の連携の方向性等をまとめた「ベンガルール声明」が提案され、参加者側の承認を経て閉幕しました。

今回の出席により、インドの高等教育機関関係者をはじめ、多くの海外質保証機関の関係者と懇談することができ、情報交換を行う貴重な機会となりました。



講演後の記念品贈呈



他国の質保証等機関スタッフと（右から 3 人目が土屋幹事）

評価事業

申請状況について

○平成29年度認証評価の申請状況について

平成29年度に実施する大学及び高等専門学校機関別認証評価、法科大学院認証評価について、下記のとおり申請を受け付けました。

	認証評価
大学機関別認証評価	14校
高等専門学校機関別認証評価	4校
法科大学院認証評価	6校

○平成29年度大学機関別選択評価の申請状況について

平成29年度に実施する大学機関別選択評価について、下記のとおり申請を受け付けました。

大学機関別選択評価は、当機構が独自に行う第三者評価として、大学の希望に応じて大学機関別認証評価とは異なる側面から大学の諸活動等を評価します。

選択評価事項には、選択評価事項A「研究活動の状況」、選択評価事項B「地域貢献活動の状況」及び選択評価事項C「教育の国際化の状況」を設けています。選択評価事項A及び選択評価事項Bでは、水準判定を加味しつつ、各大学が有する目的の達成状況を中心に評価を実施します。選択評価事項Cでは、目的の達成状況の評価に加え、各評価項目の水準について一般的な水準と比較した評価を実施します。

	選択評価事項A	選択評価事項B	選択評価事項C
大学	0校	2校	0校

○平成29年度選択的評価事項（高等専門学校）に係る評価の申請状況について

平成29年度に実施する選択的評価事項に係る評価について、下記のとおり申請を受け付けました。

選択的評価事項に係る評価は、高等専門学校評価基準とは別に、当機構独自の第三者評価として実施するものであり、高等専門学校の希望に応じて高等専門学校評価基準とは異なる側面から高等専門学校の活動等を評価します。

選択的評価事項には、教育活動と関連する側面のみからでは十分に把握することが難しい選択的評価事項A「研究活動の状況」及び選択的評価事項B「正規課程の学生以外に対する教育サービスの状況」を設けており、その事項に関わる各高等専門学校が有する目的の達成状況等について評価を行います。

	選択的評価事項A	選択的評価事項B
高等専門学校	4校	4校

学位授与事業

短期大学・高等専門学校卒業者等を対象とする単位積み上げ型の学位授与関係

■認定専攻科に係る教育の実施状況等の審査について

機構が認定した短期大学・高等専門学校の専攻科については、認定又は再審査の結果の通知日の属する年度の次年度の4月1日から、原則として5年後に教育の実施状況等の審査を行い、その後は、原則として7年ごとに審査を行っています。

○平成29年度に実施する教育の実施状況等の審査

平成 29 年度は、短期大学の認定専攻科のうち3校3専攻が審査対象となっており、該当する認定専攻科を置く短期大学の設置者に、平成 29 年度に審査を行うことを通知しました。

1 短期大学専攻科【3校3専攻】

	名 称	専 攻	修業 年限	設 置 者
1	日本歯科大学東京短期大学	歯科技工学専攻	2年	学校法人日本歯科大学
2	山野美容芸術短期大学	芸術専攻	2年	学校法人山野学苑
3	富山短期大学	食物栄養専攻	2年	学校法人富山国際学園

※2 高等専門学校専攻科の対象なし

■特例適用専攻科に係る教育の実施状況等の審査について

特例の適用認定を受けた短期大学・高等専門学校専攻科については、適用認定の通知日の属する年度の次年度の4月1日から、原則として5年以内に教育の実施状況等の審査を行い、その後は、原則として5年ごとに審査を行うこととしています。

○平成 29 年度に実施する教育の実施状況等の審査

平成 29 年度は、短期大学の特例適用専攻科のうち2校3専攻及び高等専門学校の特例適用専攻科のうち 11 校 25 専攻が審査対象となっており、該当する特例適用専攻科を置く短期大学又は高等専門学校の設置者に、平成 29 年度に審査を行うことを通知しました。

1 短期大学専攻科【2校3専攻】

	名 称	専 攻	修業 年限	設 置 者
1	湊川短期大学	幼児教育専攻	2年	学校法人湊川相野学園
		健康教育専攻	2年	
2	別府大学短期大学部	初等教育専攻	2年	学校法人別府大学

2 高等専門学校専攻科【11校25専攻】

	名 称	専 攻	修業 年限	設 置 者
1	函館工業高等専門学校	生産システム工学専攻	2年	独立行政法人国立高等専門学校機構
		環境システム工学専攻	2年	
2	釧路工業高等専門学校	建設・生産システム工学専攻	2年	独立行政法人国立高等専門学校機構
		電子情報システム工学専攻	2年	
3	福井工業高等専門学校	生産システム工学専攻	2年	独立行政法人国立高等専門学校機構
		環境システム工学専攻	2年	
4	米子工業高等専門学校	生産システム工学専攻	2年	独立行政法人国立高等専門学校機構
		物質工学専攻	2年	
		建築学専攻	2年	
5	阿南工業高等専門学校	構造設計工学専攻	2年	独立行政法人国立高等専門学校機構
		電気・制御システム工学専攻	2年	
6	香川高等専門学校	創造工学専攻	2年	独立行政法人国立高等専門学校機構
		電子情報通信工学専攻	2年	

7	新居浜工業高等専門学校	生産工学専攻	2年	独立行政法人国立高等専門学校機構
		電子工学専攻	2年	
		生物応用化学専攻	2年	
8	佐世保工業高等専門学校	複合工学専攻	2年	独立行政法人国立高等専門学校機構
9	熊本高等専門学校	電子情報システム工学専攻	2年	独立行政法人国立高等専門学校機構
		生産システム工学専攻	2年	
10	大分工業高等専門学校	機械・環境システム工学専攻	2年	独立行政法人国立高等専門学校機構
		電気電子情報工学専攻	2年	
11	神戸市立工業高等専門学校	機械システム工学専攻	2年	神戸市
		電気電子工学専攻	2年	
		応用化学専攻	2年	
		都市工学専攻	2年	

教育の実施状況等の審査	短期大学専攻科	2校3専攻
	高等専門学校専攻科	11校25専攻
	合計	13校28専攻

機構認定の教育施設（各省庁大学校）の課程修了者への学位授与関係

■教育の実施状況等の審査について

機構が認定した教育施設（各省庁大学校）の課程については、原則として5年ごとに教育の実施状況等の審査を行っています。

○平成29年度に実施する教育の実施状況等の審査

平成29年度は、機構が認定した教育施設（各省庁大学校）の課程のうち、次の3校3課程が審査対象となっています。

（大学の学部に対応する教育を行う課程）

認定課程名	入学定員	修業年限	認定年月日
海上保安大学校 本科	45人	4年	平成3年12月18日
気象大学校 大学部	15人	4年	平成3年12月18日
職業能力開発総合大学校 総合課程	80人	4年	平成24年2月13日

機構の窓

○会議の開催状況

- ・大学機関別認証評価委員会

第2回 平成28年9月14日（水） 16時30分～18時00分

議事

- 1 大学機関別認証評価に係る3巡目の評価基準等の検討について
- 2 その他

- ・高等専門学校機関別認証評価委員会

第2回 平成28年9月23日（金） 14時00分～16時00分

議事

- 1 高等専門学校機関別認証評価実施大綱（案）及び高等専門学校評価基準（機関別認証評価）（案）
について
- 2 高等専門学校機関別認証評価 自己評価書 様式（案）について
- 3 その他

主要行事日程

○ Schedule

10月

日	行事名	担当課
1日～7日	平成28年度10月期学位授与郵送申請受付期間	学位審査課

11月

日	行事名	担当課
9日	学位審査会（平成28年度第3回）	学位審査課
14日	平成28年度大学ポートレートステークホルダー・ボード	大学ポートレートセンター事務室

12月

日	行事名	担当課
4日	大学改革支援・学位授与機構試験（面接） （東京地区）	学位審査課
11日	大学改革支援・学位授与機構試験（小論文） （東京地区、大阪地区）	学位審査課
22日	法科大学院別認証評価委員会（第2回）	評価支援課



独立行政法人

大学改革支援・学位授与機構